



天白こじょう会だより

112号 2024/11



発行/天白こじょう会
名古屋市高年大学鯨城学園

項目	タイトル	投稿者	頁
表紙	興正寺 平成大仏（日本画）	間瀬 芳枝	－
目次	－	－	2
会長挨拶	「みんなの作品展」お疲れ様でした	小島 明	3
役員会等報告	役員会等報告（6月～9月）	若原 高生	3～7
活動報告	38期生地域ミーティング	川上 茂雄	7
	「天白区クリーンウォーキング2024」に参加して	青山 博美	8
	「鶴舞公園クリーンキャンペーン」に参加して	窪木 英心	8～9
	「こころの絆創膏」配布活動に参加して	青山 博美	9
	「バス旅行」古の文化と伝統を訪ねて	市川 正信	10～11
	第23回「みんなの作品展」を終えて	新田 元廣	11
	★みんなの作品展「作品一覧」 ～ 写真撮影・編集	青山 博美 窪木 英心 川上 茂雄	12～ 19
	センターまつりに太極拳同好会が初参加	馬場 興樹	20
	センターまつりにカラオケ同好会が初参加	水本 進	21
	平針ブロック会だより	西尾 克己	22
行動予定表	11月～3月	青山 博美	23
巻末	訃報、編集後記、編集スタッフ	事務局	24

会長挨拶

「みんなの作品展」お疲れ様でした

天白こじょう会 会長
32期 地域B 小島 明

おかげさまで、9月末に今年上半期最大のイベントである「生涯学習センターまつり」共催の「みんなの作品展」を、無事に終える事が出来た事を感謝申し上げます。積極的に作品をご出展頂いた会員の皆様、作品展の企画運営にご尽力された関係者の皆様、中でも今年入会された37期生の纏まりと活躍には目を見張るものがありました。本当にお疲れさまでした。



昨年に続く体験作品の「常滑焼」「新聞ちぎり絵」「七宝焼き」の展示数は、総数116点のうち58点と半分を占めました。

ご来場いただいた各区の鯨城会会長や学園顧問等から、体験作品の展示が昨年より進化していたとの評価をいただきました。

昨今の16区の作品展ではいずれも出展数が減る傾向にありますが、天白こじょう会は「みんなの作品展」として行事担当や会員の皆さんと一緒に活動を拡げており、今後も更に進化させたいと思っています。

32期矢島すみ江さんの「私の百名山」は今までにない作品でご本人の趣味とその成果が見られ楽しく拝見いたしました。

特筆すべきは38期の水野ますみさん。現役学生にも拘わらず積極的に素晴らしい作品をご展示いただきました。

作品展以外でも、「太極拳同好会」と「カラオケ同好会」の皆さんにはロビー発表に初参加していただき、センターまつりを盛り上げて頂きました。有難う御座いました。

下半期には「16区フェスティバル」、「堀川清掃大作戦」、「自衛隊守山駐屯地見学」や「宗次ホールでの音楽鑑賞とランチ会」などの企画が続きますので、皆様奮って参加頂くようお願い申し上げます。

役員会等報告（6月～9月）

34期 地域B 若原 高生

役員会 6月8日(土) 天白在宅センター・研修室 21名出席

会長：本年の6月は7月並みと予想されており、気温変化に注意が必要である。また、会員のご家族や知り合いでコロナにかかっている人がおり、まだまだコロナ対策も必要であります。夏に向かって熱中症に気を付けて頑張りましょう。

鯨城会：・6年度の会員数は2,067名で26名増加。新入会員213名。



- ・5月20日「グラウンドゴルフ交歓会実行委員会」(会長出席)。案内書の配布。
- ・5月20日「16区フェスティバル実行委員会」(川上委員出席)。開催日は11月14日、競技種目は昨年と同様(〇×クイズ、ボッチャ、龍の玉送り、玉入れの4種目)。

応援合戦の提案がなされたが、当会では実施反対。実施されても参加せずと次回委員会で返答することとした。

- ・6月15日「鶴舞公園クリーンキャンペーン」を開催予定。
- ・6月19日「ホームページ担当者会議」(若原委員出席)
- ・鯨城会会費は昨年と同様、半額の150円/人。

総務：・6月14日「38期生地域ミーティング」開催予定。

広報：・111号区会誌の発行予定は7月6日。

- ・本会ホームページの「区の概要欄」を改訂した。

行事：・5月6日「新入会員歓迎BBQ大会」を開催。参加者は新入会員6名を含め31名、沢山の料理とビールで盛り上がりました。

- ・7月2日「バス旅行：古の文化と伝統を訪ねて」を開催予定。七宝焼き体験や関宿等の楽しみ一杯の旅行です。

ボラ：・6月4日「養護ホームほほえみ」を訪問。当会6名参加。次回は7/16、8/6に訪問予定。

- ・6月8日「天白クリーンウォーキング」を実施。当会19名参加。この他に植田中央公園愛護会からも16名が参加。

- ・6月15日「鶴舞公園クリーンキャンペーン」を実施。当会12名参加。

拡大役員会 7月6日(土) 天白在宅センター・研修室 32名出席

会長：私事ですが、7月2日のバス旅行に参加予定でしたが、朝リンパ腺が腫れ、2日程床に臥せっており、皆さんにご心配をお掛けしました。今日この頃、梅雨で温度・湿度が高く、高齢者による熱中症による事故が認められています。暑さに気を付けながら、頑張りましょう。

学園：・38期生の地域ミーティングは在校生375名中199名が出席。

鯨城会：・6月10日「OB文化祭委員会代表者会議」を開催。

参加者の募集案内を鯨城会HPに掲載(締切8/24)

- ・6月15日「鶴舞公園クリーンキャンペーン」を開催。鯨城会と在校生418名が参加。

- ・6月17日「16区フェスティバル実行委員会」開催。応援合戦は天白等4区が不参加、アトラクションは盆踊りとする。(委員の川上さんがボッチャ責任者、サブの若原が玉送り責任者)配布した「参加申込書」の早急なる提出を要望した。

- ・鯨城かわら版R6-1を配布。

- ・9月10~13日「こころの絆創膏キャンペーン」を実施予定(当区は9/11に地下鉄伏見駅)

- 総務：・6月14日に38期生を対象に「地域ミーティング」を実施。
38期生参加者は21名中8名参加。そのアンケートでは「入会したいが、役員をやらされるのが大変」との意見が多く、今後これを払拭する働き掛けが必要である。（今回、こじょう会の概要説明用としてパワーポイントを作成）
- ・本年度の市の安心、安全、快適づくり活動補助金は40,700円。
- 広報：・111号区会誌を発行、本日配布。学園に分担金25,000円申請。
- ・当会ホームページに「本年度の事業計画」等を更新した。
（今後は広報Gにおいて各Gの公式会議・行事等について掲載）
- 行事：・6月18日「新聞ちぎり絵を楽しもう」を開催。参加者は19名。
（6/21中日新聞に掲載される）
- ・7月2日に「バス旅行：古の文化と伝統を訪ねて」を開催。参加者36名で七宝焼き体験の作品がみんなの作品展で披露される。
 - ・9月28、29日にセンターまつりを開催予定。「太極拳同好会」と「カラオケ同好会」がロビー発表に初参加予定。

ブロック会

御幸山：4月23日に食事会を開催。参加者14名。今後も継続的に実施する計画である。
（佐々山ブロック長）

南天白：5月14日に開催。参加者12名。（杉山ブロック長）

平針：7月14日に講話と懇親会を開催。参加者22名。（西尾ブロック長）

愛護会・同好会

- ・第三街路樹愛護会の解散に伴う最終残高が確定（81,109円）、こじょう会会計に移管。
- ・麻雀同好会は現在会員数8名、会員を募集中。

特記事項

区会誌111号「訃報」欄で誤記（誤：伊藤覚→正：伊東覚）があり、誠に申し訳ないと考えています。このような状況を踏まえ総務Gを中心に対策の打合せを行った。今後「訃報」の取り扱い方法の見直し及び編集会議でのチェック体制の強化を図っていくこととした。

役員会 8月10日(土) 天白在宅センター・研修室 25名出席

【訃報に関する今後の運用法】

- ・訃報の連絡は原則、ブロック長→会長とし、会長は役員会で報告する。
- ・役員会の報告に基づき、議事録に記載する。
- ・更に、区会誌には編集会議での最終チェックを行った上、巻末の「訃報欄」のみに記載し、役員会報告欄との重複掲載防止を図る。

<黙祷>

お亡くなりなられた、天白学区20期伊東覚さんと表山学区22期中島克人さんのご冥福を祈り、黙祷を捧げた。

会長：先日、南海トラフ地震の前兆かもしれない地震があった。買い物に行くと、水や防

災グッズが売り切れ状態であった。これを機会に地震への事前準備を怠りなく行いましょう。また、コロナ患者も多く（愛知は全国3位）、更に猛暑続きで熱中症にも十分気を付けて下さい。

鯨城会：・7月22日「グラウンドゴルフ交歓会運営委員会」（会長出席）。

10月23日に庄内緑地での開催が決定。昨年同様個人戦のみ、当会は現在5名が参加予定（参加締切は9/7）

・7月22日「16区フェスティバル実行委員会」開催（川上委員、若原サブ出席）。11月14日東スポーツセンター。現在の参加者は31名。

・9月9日「16区フェスティバル実行委員会」及び9月30日「社会奉仕活動担当者会議」の開催予定。

・11月16日「堀川清掃大作戦」を実施予定。

広 報：・当会ホームページに「111号区会誌」と「112号区会誌の投稿依頼」を掲載。

行 事：・役員会終了後に「みんなの作品展担当者会議」を開催。また、出展数が少ない。

・11月21日「自衛隊守山駐屯地見学」の参加者を募集中。

・12月の宗次ホールでの「音楽鑑賞とランチ会」は先方と調整中であり、9月には決定し、案内を出せるよう努力する。

ボ ラ：・「あしたの丘」を7月18日に訪問（青山副会長）。

役員会 9月7日(土) 天白在宅センター・研修室 40名出席

会 長：今年は猛暑が例年以上続くとともに、台風と大雨により野菜に被害が認められている。そのような状況の中で、こじょう会の運営は現在まで順調に進められています。特に本年は行事の参加率が高く、みんなの作品展展示応募も昨年と同様です。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

学 園：・11月20日に39期生国際A対象に地域ミーティング開催予定。当会の活動内容紹介。

・12月6日に38期生対象に地域ミーティング開催予定。10名単位のグループワーク。

鯨城会：・9月9日「グラウンドゴルフ交歓会運営委員会」（会長出席）。当会参加者4名。

・9月9日「16区フェスティバル実行委員会」開催。当会の参加者は39名（「参加者リスト」は袋詰めの中に）。

・鯨城会への入会減少に関して以下の討議があった。

＜この状況の要因＞

① 就業の高齢化

② 再入学率が高い（学園はいいが、鯨城会は役員で縛られる）

③ 再入学制度の問題（卒業間際に退学し、再び入学）

＜本件に対する会員意見＞

このような入会敬遠は従来からあり、役員として魅力を感じることができる鯨城会であるべき。そのために、市、学園、鯨城会3者での議論が必要。

- 広 報：・112号区会誌を11月に発行、原稿締切は9/20です。奮ってご投稿下さい。
- 行 事：・9月28、29日のセンター祭りのプログラムを袋詰め。
・11月21日「自衛隊守山駐屯地見学」の案内及び12月12日の宗次ホールでの「音楽鑑賞とランチ会」の案内を袋詰め。
- ボ ラ：・「養護ホームほほえみ」を9月3日に訪問（当会5名参加）。以降は10/1、11/5に訪問予定。
・「あしたの丘」を7月18日に訪問（当会3名参加）。当面は青山副会長が訪問するが、来年度からは伊藤初枝さんと池田雅子さんが参加予定。
・9月11日8～9時「こころの絆創膏キャンペーン」を実施予定。当会は地下鉄伏見駅で、11名が参加予定。

活動報告

38期生地域ミーティング

31期 生活B 川上 茂雄

6月14日(金)に在宅センター・研修室で、38期生向けの地域ミーティングが実施されました。ミーティングには天白在住の38期生21名中8名が出席され、鯨城会側からは小島会長、大谷鯨城学園顧問、渡邊社会福祉協議会事務次長をはじめとして9名が出席しました。



内容としては、①小島会長・大谷顧問の代表挨拶、②渡邊事務局次長による天白社協の役割紹介、③当会役員及び38期生の自己紹介へと進み、④その後広報担当リーダーの川上から「当会の運営の仕組み・流れ、年間の行事・ボランティア活動、同好会活動など」についてパワーポイントを用いて具体的な説明を行い、38期生に理解を深めてもらいました。

後半は、天白区東部いきいき支援センターの大野保健師と赤尾社会福祉士のお二人から「認知症とは」と題した講演、及び「認知症に対する天白区の取組み」の紹介を行っていただきました。具体的な区の活動を直にお聞きすることができ、参加者一同非常に参考になりました。



38期生へのアンケートでは、①会に入るとすぐに役員をやらされる、②役員になると大変そうという意見も多いのですが、いろいろな行事があり楽しそうとの声も聞かれました。終了後の昼食会に3名の38期生に参加して頂き、楽しい時間を過ごしました。

「天白区クリーンウオーキング 2024」に参加して

33期 地域A 青山 博美

6月8日(土)に八事東小学校の近くの池見公園を集合場所として実施されました。今回は20名程の参加者が見込まれたので3チームに分け、①地下鉄八事駅から、②地下鉄塩釜口から、③天白区役所から、各々6~7名が歩道の両側をクリーンウオーキングを行いました。自分は8時50分に天白区役所の正面玄関に6名が集合し、2手に分けて進みました。



島田橋の辺りは思ったよりもゴミが多く、予想以上に集合場所への時間が掛かってしまい、目標の9時40分にやっと到着しました。八事からのチームは既に到着していましたが、距離の長い塩釜口からのチームはセレモニーが始まる10時頃にやっと到着しました。暑い中、皆様お疲れさまでした。

セレモニーは天白区長の挨拶に始まり、環境事業所長の挨拶、八事東学区長の環境宣言、各参加団体(町内会、天白こじょう会、学校、企業)の挨拶があり、10時30分頃、解散となりました。

当日の会場への参加者は全体で180人程、天白こじょう会は池見公園集合が19名、植田中央公園愛護会の参加者は16名でした。

参加してみると路上には思ったよりもゴミが多く、いつもながら吸い殻の多さが目立ちました。



「鶴舞公園クリーンキャンペーン」に参加して

37期 陶芸 窪木 英心

6月15日(土)天候に不安があったが晴れた暑い日になりました。「つるま公園」に当会12名、陶芸専攻6名で実施。「朝ドラ寅と翼」に出た噴水を過ぎた辺りに集合。9時30分から開会式が有り、鯨城学園廣田副学長他のご挨拶。その後紫陽花が咲くあたりから、通路沿いにゴミ拾いを開始しました。



通路沿いは、公園サイドで日常から綺麗にしており、吸い殻、空き缶等

はほとんど見られなかった。割り当て区画で大物は野球場近くで、ベースの壊れた物 2 個が林の中で見つかった。当日は、梅雨前だが、日差しが強く、29 度の気温の中体調が心配でしたが無事終了しました。その後食事会を行い有意義な時間を過ごしました。

全体で、鯨城 192 名、38 期 129 名、39 期 109 名、合計 430 名でした。これだけの人達が集まり、何となくではありますが人対効果では物足りない気持ちがあります。ごみの分析などを行い、今後の鶴舞公園に期待すべき姿等を提言出来れば有意義です。例えば公園内のポイントにマイルストーンを表示して、誰もが分かり易く園内を効率的に巡回できるようにしたり、季節の花々や公園の歴史を知る遺跡巡りなどを加えれば、知識も増えより親しみを感じ、心に留めることが出来ると思いました。

【一ロメモ】つるま公園動物園（東山移転前）1918 年。公園 1920 年、つるま図書館 1923 年。JR つるまい駅 1937 年。地下鉄鶴舞駅開業 1977 年。



「こころの絆創膏」配布活動に参加して

33 期 地域A 青山 博美

恒例の名古屋市の自殺予防週間の行事として、9 月 10 日～13 日に各区の鯨城会が参加し、主要の地下鉄駅で「こころの絆創膏」配布活動が行われました。鯨城会全体では約 130 名が参加。当会は残暑厳しいと言うより猛暑の中(当日の気温は最低 26℃、最高 36℃)、9 月 11 日(水) 8:00 から会員 10 名が、地下鉄伏見駅で、西区の鯨城会と配布区域を分

担し合い、主に出勤途中の人達に絆創膏を配布しました。急ぎ足で通る人に「名古屋市のこころの絆創膏です」と声を掛けながら、悩み相談先の書かれた絆創膏のフォルダーを 1 人当たり約 100 個、大体 30 分程度で配り終えました。この活動によって悩みを抱えた人が少しでも多く相談窓口につながり、解決の方向を見つけ、自殺に至る人が減ることを祈ります。



「バス旅行」古の文化と伝統を訪ねて

(甚目寺観音・七宝焼きアートヴィレッジ・関宿・能褒野(のぼの)神社訪問)

31期 地域A 市川 正信

7月2日(火)、午後から雨予報であったのですがお陰様で大した雨に降られることもなく楽しいバス旅行になりました。参加者36名、車内は笑い声にあふれ盛り上がりながらの旅行です。



まず向かったのは尾張四観音の一つ甚目寺観音です。境内には南大門をはじめ、三重塔、東門などの重要文化財が多くありました。ガイドさんから、南大門の仁王像は秀吉の病氣治癒を願って福島正則が寄進したこと、本尊の聖観音像は十一面観音の胎内仏として安置されていること、江戸時代には藩主から手厚い保護があったことなどの話がありました。まだまだ興味深い話が聞けそうだったなあとと思いながら次の目的へ向かいました。

次の七宝焼きアートヴィレッジでは何を作るか迷った末、ループタイに挑戦しました。講師さんから「色釉薬の厚さは1ミリ程」「初めから厚くしないように」とコツを教えていただきましたが、筆先で色釉薬を銅板へ置いて模様を作ることに手間取り、最後は「これでいいや」と独り言を発していました。作品が冷めるまでの30分ほど展示室を見学しバスに戻ると、ガイドさんが作品を渡してくれました。作品を受け取り、思わずにんまり。失敗と思っていた作品ですが不透明な釉薬が透明になって発色し、それらしい作品に見えるではありませんか。調子に乗って、再チャレンジの気持ちが湧いてきたことを思い出します。



三つ目は、旧東海道の宿場町である関宿です。ガイドさんから、地蔵院のお地蔵さまは奈良の大仏さんを婿取りできるほどの美顔であるとの話、一休さんから頂いた布を年中首に巻いているとの話、街道の店の看板は京都方面から見ると漢字で書かれ、江戸方面から見るとひらがなになっているといった話、「関の山」の語源はこの関宿にあるなどの話を楽しく聞きました。また、格子建具、高札場跡、旅籠のつくり、本陣跡などの見学を通して宿場町の文化を知ることができました。



最後の目的地は、日本武尊(やまとたけるのみこと)が祀られている能褒野神社と陵墓と伝えられる能褒野王塚古墳です。能褒野神社は深い緑に覆われた参道を進んだ先にあり、辺りは凜とした空気感が漂っているように感じました。正殿で宮司さんの話を聞いた後、陵墓に向かい手を合わせながら日本武尊にまつわる神話をもう一度読んでみようかと思いました。



今回は、古代から現代にわたる空間に思いを馳せながら、古の文化や伝統工芸に触れることができた楽しいバス旅行でした。

第23回「みんなの作品展」を終えて

31期 生活B 新田 元廣

「みんなの作品展」が、天白生涯学習センター視聴覚室で9月28日(土)～29日(日)、センターまつりとの共催で開催されました。27日(金)の会場設営準備も含めて3日間、沢山の皆さんに多大なご協力を頂きました。



作品出展数は全体で116点、内訳は一般部門58点、体験部門58点でした。38期生(鯨城学園2年生)水野ますみさんから力作を出展していただきました。来期以降、現役生に門戸を開くきっかけになればと思います。

入場者数は362名で昨年度(259名)を大きく上回りました。内訳は市鯨城会関係25名、天白こじょう会関係102名、一般216名、記帳なし若干名でした。今回太極拳同好会とカラオケ同好会のロビー出演があったことも相乗効果となって表れたと思います。来期以降も続けられればと思います。

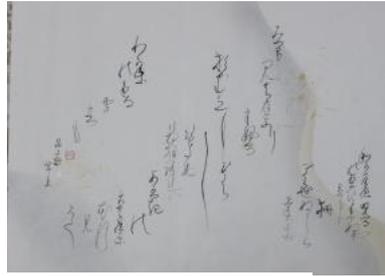
みんなの作品展は来年も続きます。今年の反省点をしっかり総括し、更に盛り上げていきたいです。ご協力、本当にありがとうございました。



<書・短歌>

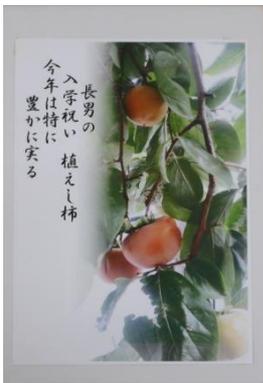


かな①「扇」



かな②「金色」

谷口 綾子

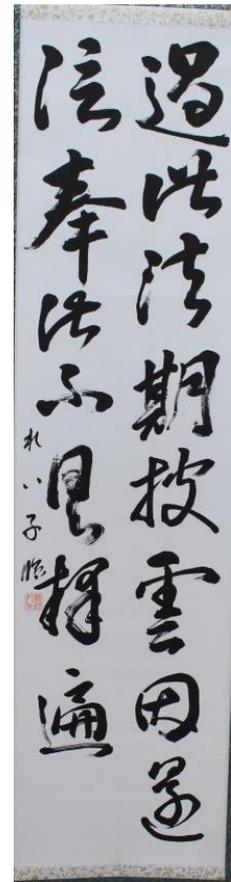


植えし柿



花いちもんめ

齊藤 昌和



張遷碑

渡邊 れい子

<絵画>



合掌
山田 芳夫



牧野ヶ池緑地
夏目 祝子



パリ (ポンヌフ)
濱口 美代子



富士山
加藤 さち子



冬の里山

稲垣 比佐代

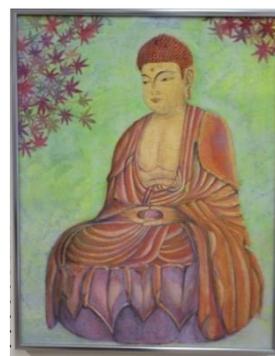


シクラメン



海辺のモニュメント

北條 道子



平成大仏

間瀬 芳枝



半田レンガ館

栗山 憲夫



ベニマシコ鳥

川島 英良



秋の紅茶に添えて



初夏のフリエ

戸谷 和代



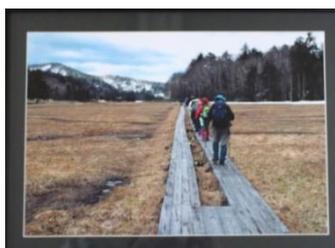
夏の少女(1)



夏の少女(2)

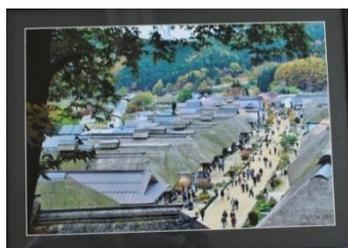
渡邊 幸子

<写真>



てくてくと

市川 正信



大内宿



さくらと給水塔

窪木 英心



ジャガイモ
近藤 敬



いっしょうけんめい
に働いています
石谷 清和



梅が丘の夕暮れ
水本 進



噴水
小倉 政二



茶畑に富士山
丹羽 美佐子



天白川にお似合いの彼岸花



水辺の紅葉
宮前 裕道



法隆寺



東大寺の首
小島 明



忘れ草
後藤 康正



幸福の黄色いハンカチ
齊藤 昌和



奇跡の一本松

<陶芸>



干支の置物「たつ坊」
西尾 克己



ブーツ型花瓶



金太郎
伊藤 初枝



お菓子入れ容器
川島 英良



茶碗



大皿

加藤 一八



フラワーベース(1)



フラワーベース(2)

戸谷 和代



コーヒーフィルター

スタンド
小倉 政二



行燈

窪木 英心

<手芸・その他>



五月みどりティッシュBOX
加藤 さち子



紳士ものでしょうか・女性ものでしょうか
木下 規予



無題
加藤 志保子



パッチワーク
伊藤 初枝



真夏の夜空
稲垣 比佐代



かさ



親子バック

小川 香代



花かざり
水野 ますみ



家族みんなで楽しんでいます
石谷 清和



夏から秋へ
加藤 志保子



私の百名山
矢島 すみ江



田舎の風景
(新聞ちぎり絵)
栗山 憲夫

<絵手紙>



吉川 啓子



季節は今
熊田 文子



古橋 登美代

<体験コーナー 新聞ちぎり絵>



吉川 啓子 北條 道子 福永 時継 新田 元廣 市川 正信 川島 英良 小島 明
 渡邊 幸子 青山 博美 坪井 徹 後藤 康正 加藤 真知子 仁井 淑子 栗山 憲夫

<体験コーナー 常滑焼>



小川 香代 石川 敏彦 宮前 裕道 石本 佳幸 佐々山 浩将 吉川 啓子 宮前 郁子
 栗山 憲夫 福永 時継 新田 元廣 市川 正信 川島 英良 奥村 恵子 綿貫 幸夫
 戸谷 和代 小島 明 坪井 徹

<体験コーナー 七宝焼き>



稲垣 健司 小川 香代 三高 邦子 小栗 奈津子
 紅谷 泰子 西尾 克己 佐々山 浩将 柘植 節子
 加藤 八重子 水本 進 近藤 文枝 金丸 正美
 馬場 興樹 高橋 慶子 福永 時継 新田 元廣
 伊藤 初枝 菊谷 守泰 市川 正信 池田 雅子
 奥村 恵子 綿貫 幸夫 伊藤 雅子 坪井 徹
 加藤 真知子 熊田 文子 仁井 淑子 川上 茂雄



伊藤 俊彦 夏目 祝子 松川 健二 松川 春生 金丸 正美
 近藤 文枝 広瀬 貞隆 渡邊 幸子 乾 昌博

センターまつりに太極拳同好会が初参加

30期 国際B 馬場 興樹

今年目標として、かねてより会員の気持ち参加の方へ向けばと、センターまつりの企画を待っていた所、会員の参加意欲も高まる中で、9月29日(日)のロビー発表に初参加する機会を頂きました。今年の夏は異常な猛暑が長く続く厳しい気候でしたが、会員皆は体調も崩さず、センターまつりに向けて特別に練習時間を設けて、全員参加を目標に今まで以上の集中力で稽古に励んできました。



初参加の企画として、「楊名時太極拳」の演目の中、

- ① 全員で「不老拳」(24式の前半部分)、
- ② 全員で「八段錦」の内、第一段錦～第四段錦、会場の皆さんと一緒に第八段錦(かかと落とし)、
- ③ 経験者5名による楊名時太極拳24式套路(とうろ：一連の決まった動作の流れのこと)、

合わせて30分の演舞を終えて挨拶すると、会場の皆さんから大きな拍手を頂きました。特に、初めて参加したにも拘らず会員の演舞は呼吸が揃って気持ちが一つになっており、大変好評でした。



観客を前にしたはじめての太極拳演舞は大変な緊張と不安の中にあつたことと思います。太極拳動作の上下前後左右も分からず、始めてから約2年間難しい動き、型、呼吸を集中して稽古してきました。この年代になっても楽しく動けることが実感でき、参加した皆さんの顔にも満足感が溢れていました。楊名時太極拳が健康太極拳と言われる由縁がここにあるのでは思います。

太極拳動作の上下前後左右も分からず、始め



今回は楊名時太極拳の不老拳と八段錦を披露しましたが、今後の目標としては楽しみながら稽古を重ねて、全員が24式套路を演舞出来たらと思います。有難うございました。



入会希望者へ：楊名時太極拳は70才、80才、90才と何歳からも始められる運動で、健康(心と身体の)を造る運動といわれます。入会を待っています。

センターまつりにカラオケ同好会が初参加

30期 国際A 水本 進

9月28日、29日に開催されたセンターまつりのロビー発表に天白こじょう会としては、カラオケ同好会と太極拳同好会が初参加しました。

参加目的は、日頃の会員活動発表に加えて、近年のみんなの作品展への来場者が減少傾向に有り、その対策の一環として我々のロビー発表を見に来た方々が、同時に作品展会場へ足を運んでもらえるのではないかと考えました。結果として、作品展来場者は去年の259人から約100人増の362人になったと聞いて居り、少しでもお役に立つことができたかと、皆で喜んで居ります。

発表曲ですが、歌謡曲中心で有りましたが、私は歌の上手い下手は二の次で、笑いを取れる曲にして欲しいとの依頼を受け、日頃こじょう会ボランティアで歌っている「月光仮面は誰でしょう」を歌いました所、その後知らない方を含めて、多くの方から「あんた月光仮面でしょう」と呼ばれる事が多くなり、喜んで良いのか悪いのか戸惑っています。



長谷川さん・奥村さん

来年の話しになると笑われてしまいますが、会員の皆さんと相談する中でロビー発表会への参加を継続し、みんなの作品展入場者数を更に増すお手伝いが出来れば幸いと考えて居ります。



水本さん



小川さん



菊谷さん



新田さん

平針ブロック会だより

28期 地域 西尾 克己

7月14日、第25回平針ブロック会を開催しました。参加者22名。昨年10月以来のブロック会でしたが、みな変わりなく元気に再会することができました。

第一部は「市川さん出番ですよ！」と題し、31期の市川正信さんにご講演頂きました。

市川さんは平針で生まれ育ち、平針地域についての深い博識をお持ちで、講演に対して、参加者全員から賞賛の声が上がりました。市川さんお疲れ様でした。以下に講演内容の一部をご紹介します。

「平針の歴史をさぐる」をテーマに、原始の平針の地理から始まり、古代・中世・近世・近代・現代の平針地域に関わる歴史や文化などを55枚のスライド資料に纏め、自らの生活体験もおりませながら講演されました。鎌倉時代に平針古窯の四耳壺が出土。809年に秋葉山慈眼寺創建。1560年織田信長が桶狭間の戦いのおり祈願し戦勝する。針名神社の創建は、10世紀初頭以前で延喜式(927年)に従三位針名天神と記載されている。慈眼寺・針名神社の祭事など詳しく説明された。近世になると1610年代に岡崎街道が整備された。平針木遣りは1600年ころのようだ。平針宿の始まりは1612年。現代に入り、昭和30年に名古屋市に合併し昭和区天白町になる。同年平針小学校が開校。昭和40年運転免許試験場と農業センターが開設される。昭和50年天白区になる。

講演の最後に22期三高邦子さんから頂いた感想と俳句を披露します。

「スライド資料を駆使し、発見に次ぐ発見があり楽しかった。」

「愛町心増すばかり夏期講座」、「わが町史学び芽の輪をくぐりけり」

第二部は木曾路で懇親会です。始めに小島会長から、天白こじょう会と学園の現状について報告を頂いた後、新入会員の小倉政二・仁井叔子さんのご紹介、前回の講演者25期谷田耕三さんの乾杯音頭で会食を始めました。

仁井叔子さんの感想です。「会員たちの和やかな雰囲気良く、講演を聴き平針のことが良く分かりました。」

その後会員の近況報告などで盛り上がり楽しい時を過ごすことができました。次回は1月26日(日)、またお会いいたしましょう。



講話中のスナップ 旧平針公民館にて

行事予定表（11月～3月）＊9月末時点での予定です。変更・中止にご注意下さい。

行 事	実施予定日・時間等					場 所	担当者 (令和6年度)
	11月	12月	1月	2月	3月		
役員会	15(金) 13:00 <small>袋詰・リガー会</small>	7(土) 13:00 <small>袋詰・役員会</small>	18(土) 13:30 <small>役員会</small>	8(土) 13:00 <small>袋詰・役員会</small>	7(金) 13:00 <small>袋詰・リガー会</small>	天白在宅 サービス センター、 生涯学習 センター、 他	小島 明 坪井 徹
拡大役員会・総会	拡大 16(土) 13:30～				拡大 8(土) 13:30～		
広 報 こじょう会だより ホームページ更新	16(土) 112号				8(土) 113号		川上茂雄
行 事	随時						
行 事	21(木) 守山自衛隊 駐屯地見学	12(木) 宗次ホール コンサート	9(木) 針名神社 初詣	(日程未定) 梅園観賞	(日程未定) 地域散策会		新田元廣
鯨城会他関連行事	14(木) 16区入				(日程未定) 心の絆創膏		
	16(土) 堀川清掃				4(火) OB文化祭		
					9(日) ウイニングマラソン		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	植田中央公園 愛護会	毎月第1、3土曜日（雨天の場合翌日）			9～10時	植田中央公園	坂井詔男
	戸笠公園愛護会	毎月第3土曜日（雨天の場合翌日）			9～10時	戸笠公園	杉山元浩
	天白川緑道清掃	毎月第2金曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)			9～10時	天白区役所	小島 明
	天白公園第4愛護会	毎月第4土曜日（雨天の場合翌日）			9～10時	天白公園	水野正弘
	施設訪問	1回/月、日程を調整しつつ実施				あしたの丘	青山博美
	1回/月、日程を調整しつつ実施				特養ほほえみ		
	イベント応援（先方から今期は不要の連絡）				寿荘		
同 好 会	グラウンド ゴルフ	毎週木曜日 毎週金曜日			9～12時	植田中央公園 天白公園	林口 強
	リズム体操 クラブ	毎月1、2、4の月曜日 (祝日や講師の都合で変更あり)			10～11:30	平針新公民館	斉藤昌和
	カラオケ同好会	毎月第1月曜日			14～16時	ジャパソリタ カ-/天白	綿貫幸夫
	天天会(食事会)	毎月20日			16～18時	てんぐ原店	川上茂雄
	アウトドア会	(未定)					斉藤昌和
	史跡散策	(未定)					
	パソコン研究会	毎月第1、2、3月曜日			13:15～14:45	生涯学習 センター	金丸正美
	囲碁同好会	毎月第3水曜日			13～16:30	原コミセン	西尾克己
	健康ウォーク	毎月第1水曜日				地下鉄原駅 9:30集合	水野正弘
	麻雀同好会	毎月第1木曜日			13～17時	八事東 コミセン	佐々山浩将
	太極拳同好会	毎月3回、金曜日			13:30～15:30	原コミセン	馬場興樹

〈訃報〉

中島 克人 さん

御幸山ブロック 22期 文化B

7月にご逝去されました。

植田中央公園愛護会会長を務められ、
会の発展に貢献されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

〈訃報〉

佐治 學 さん

御幸山ブロック 25期 地域

9月にご逝去されました。

史跡散策同好会会長を長年務められ、
会の発展に貢献されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

〈編集後記〉

今年の名古屋市は連続猛暑日が過去最長の25日間を記録し、“体温を超える災害級の酷暑”と表現されるほど、常に熱中症による危険を意識する行動・生活が求められる夏となりました。

上半期最大のイベントである「みんなの作品展（センターまつり共催）」は、昨年引き続いて実施した体験コーナーが好評を頂き、出展数も増加したため、作品紹介のページを昨年より1頁増やして充実を図りました。

また、今年は太極拳同好会とカラオケ同好会がロビー発表に初参加しました。ロビーに集まった観客の皆さんと一体となった活動により、センターまつり全体の盛り上げにも貢献することができたのではないのでしょうか。

一方衆議院が突然解散され、選挙の投開票日と天白区民まつりが重なったため、区民まつりが中止となりました。準備に関わって来られた皆さんご苦労様でした。残念ではありますが下半期にはまだまだ沢山の企画が準備されていますので、積極的なご参加をお願いします。

広報リーダー 川上 茂雄



天白公園

〈編集スタッフ〉

発行責任者	小島 明	
広報リーダー	川上 茂雄	
編集委員	福永 時継	青山 博美
	久野 清和	若原 高生
	加藤 眞知子	間瀬 芳枝